

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	53人

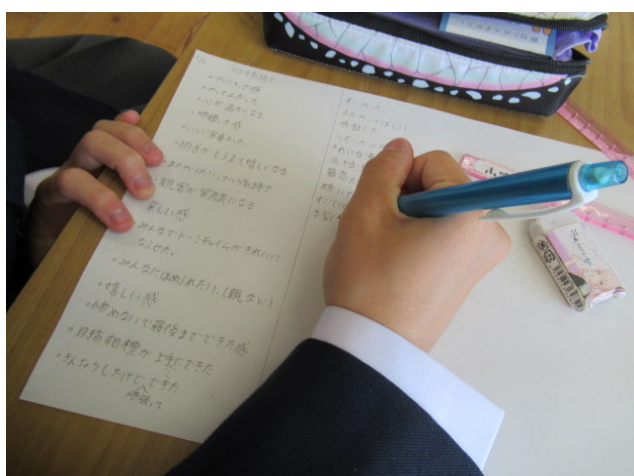
1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部1年生 17名
使用頻度	5月、6月は週3～4回 他の時期は、音楽の授業(週1回)で内容に応じて使用。
使用状況	生活単元学習「駿光祭のステージ発表に向けて」の単元と、音楽の授業において、週3～4回のペースで、寄贈していただいたトーンチャイムを使用しました。また、その他、音楽の授業で合奏の単元を行う際に、使用しています。
物品の使用による変化や効果	本校で使っているトーンチャイムはだいぶ古くなっており、劣化や破損しているものを補修して使っているものもあったため、寄贈していただいた新しいトーンチャイムの気持ちの良い音や使用感に喜んで音を鳴らす様子がみられました。また、トーンチャイムの本数が増えたことで、演奏できる曲の幅も広がりました。
今後の活用の見通しや課題	毎年、文化祭において、高等部1年生によるトーンチャイムの演奏を行っているため、引き続き活用させていただきたいと思っています。 今後、生徒数が増えるため、さらに深みのある、良い演奏になるのではないかと考えています。
その他希望や所感など	トーンチャイムの数が増えたことにより、一人で2音以上を担当することもでき、トーンチャイムを使った演奏の幅が広がったと感じます。

2. 活用の様子



文化祭のステージにて、トーンチャイムとピアノで「戦場のメリークリスマス」を演奏しました。



練習の過程では、ステージでの演奏が終わったとき、自分たちはどのような気持ちになっていたか、観客の皆さんに、どのような気持ちになってほしいかを話し合い、そのために、どのような演奏を作り上げたらよいかを考えて練習しました。本番では、「表情」「姿勢」「指揮をよく見て心を合わせること」を意識して演奏しました。

【トーンチャイムによるステージ発表を終えたあとの生徒の感想】

- ステージ発表が大成功して嬉しかったです。
- きれいな音を鳴らすために、鳴らし方や姿勢を気を付けて演奏することができました。
- やり切った気持ち。
- たくさん練習してよかったと思いました。
- お客様からたくさんの拍手をもらって嬉しかったです。